



SAIJO



No. 544
2022-2023



テーマ 「 We Serve (我々は奉仕する) 」
メッセージ 「 Together We Can 」 (皆でやればできる)



国際会長ピン



スローガン 「 感謝を込めてウィサーブ 」
キーワード 「 不易流行 」



ガバナーピン



スローガン 「 和の心で WE SERVE 」
キーワード 「 躍進 」



【今月の会長メッセージ】

秋の風を感じるようになり、祭りも開催されます。
かつての日常を取り戻す準備を整えていきましょう！

■ ライオンズクラブ国際協会336-A 地区2リジョンガバナー公式訪問出席報告 ■

開催日：2022年9月3日(土) 会場：今治国際ホテル ホスト：今治中央ライオンズクラブ
コロナ感染の心配もまだまだしなくてはならない状況の中、2リジョン内1クラブを除き、役員達が出席の下長時間にわたる公式訪問が開催されました。久しくこのような会議が開催されることも、私自身が出席することもありませんでしたので、いろいろな事に私の普通を覆された1日となりました。これ以上は深く聞かないでくださいね。しかし、唯一、救われた気持ちになったことは、市村地区ガバナーの頭の低さでした。謙虚で高ぶらない態度に、見習わなければと感心しました。出席された皆様、大変お疲れ様でした。





えひめ地域こども食堂ネットワーク

あらたなコミュニティのカタチ
あらたなつながりのハジマリ



～ 第4回愛媛のこども食堂セミナーに出席して ～

会長 伊藤 稔

2022年9月4日、SAIJO BASEにて、13時から16時の間「こども食堂セミナー」を受講しました。キャビネットからもこの事業に前向きに取り組むようにとのことで、知識勉学に努めました。今回は、えひめ地域こども食堂ネットワーク 共同代表の難波江様が、全体の進行役を努めていただきました。こども食堂は、2012年大田区の八百屋さん「気まぐれ八百屋だんだん」の女将近藤博子さんが、ネーミングされたとのことでした。現在全国に約6000ヶ所以上あり、対象者が数人から数百人集まるところまで、実施主体やその開催の頻度(食事の提供が月1回から365日3食を提供しているところもある。)も多種多様です。運営のほとんどは、ボランティアの手によって運営されており、フードバンクと同様に、運営費不足と人材確保が主な課題になっています。



第一部基調講演は、全国こども食堂支援センター・むすびえ 防災プロジェクターメンバー 防災コンサルタント Mamoruwa 代表の黒木敦子さんが、講演され、阪神淡路大震災を大阪で経験され、子ども食堂を活かしたまちづくりや防災対策などを提案しているほか宮崎市ワークライフバランス推進事業にも携わっています。実際に子ども食堂運営中の地震避難訓練も子ども役、通報役、消火器役など分かれて実施しました。

第二部 ディスカッションパネリストとして、イマココ子育て支援 代表 白石小夜さんとパクパクこども食堂 代表 大道世紀代さん、丹原こども食堂 渡瀬眞理子さんが、登壇され西条市の現状について、話されました。西条市25校区にこども食堂が、必要な現状、2つしかないのが急務であることを訴えていました。単に貧困家庭だけでなく地域のコミュニティが弱っており、人と人の結びつきがなく無縁社会になっている現状改善の目的もあるということでした。四国中央市19校区で4ヶ所充足率21.1%、新居浜市16校区で12ヶ所75%、西条市25校区で3ヶ所11.5%今治市26校区で4ヶ所15.4%、ということでした。

実際に身近なところで今治地域食堂事務局 坪内さんは、今治東ライオンズクラブメンバーでいらっやるそうで精力的に活動をされている方でした。

月に500人分の食材提供をしており、各公民館へ案内チラシ配布をしていました。

現状、この分野については、知識不足、認識不足もあり、今後の課題としたいと思いました。



〔愛媛県内のこども食堂〕

「子どもが一人でも安心してこられる無料または低額の食堂」が基本理念です。

現在、全国に広がっている子ども食堂は、一人や姉妹兄弟だけで食事をしないといけない孤食の子どもたちや、困難を抱える家庭の子どもたちを支援することだけが目的ではないようです。

大人もお年寄りの方も、もちろん子どもたちも、地域のみんなで集まって、話しをしながら、手伝いもしながら、食事を楽しむ場になっているのが、現在の子ども食堂です。愛媛県内には、2021年6月現在70以上の子ども食堂の活動が確認されています。地域ネットワークは宇和島地域、東予地域など一部のネットワークが形成され、情報交換や相互支援の場の形成がされています。しかし、ほとんどの子ども食堂が単独で苦勞しながら運営しているのが現状だそうです。今後は、食堂同士が交流できる場を作り、情報交換することで運営上の課題解決や連携による相互支援ができるように考えられているそうです。

シリーズ 伊予西條遺産

今期、新たに活動をスタートさせた
「萬條教室同好会」より寄稿いただきました

西条市生活文化誌(西条市)に地名について、「地名は私たち祖先の、文化遺産だといわれる。それは、地名には自然、歴史、文化等にかかわるものが多いからである。自然にかかわるもののうち、特に地形にかかわるものが多いのは、遠い昔、私たちの祖先が生活を営む上で名付けた地名が、その土地の地形によったものが多いからであろうと思われる。

さらに、時代が進むにつれて、口伝えによって誤りを生じたり、漢字を当てたり、さらには佳字の奨励もあって、本来の意味が薄れていったものもある。また中には、行政面から整理統合による改名もあり、元の地名が消えていったものがあるが、地名をたどればその土地の歴史や文化を知る手がかりになるものが多い」とある。

地名は、私たちに郷土の歴史・文化を教えてくれる道しるべである。

西條という地名は「大化の改新」の詔後、戸籍が整備され租税が確定していく中で誕生した。

地名「西條」は1996年(昭和41年)に西条市が発行した『西條市誌』によると、新居浜市角野にある深谷寺にある文書に、最初は条里制を基にして「上島山(今の飯岡)より以西を西條といい、以東を東條」ということを記したものがあつた。

のちに莊園の莊の字を当てて、上島山から西をそのまま西條莊とし、東はその中心地にある新居郷の名をとって、東條から新居莊に呼称を改めたとある。

地名「西條」は、およそ1350年も前から使用されてきた歴史ある重要な名であり、西条・新居浜の地域の奈良時代の国名は「伊豫国」、郡名は「神野郡(かみのぐん)」であつた。神野郡の郡名は、法隆寺資材帳太平十年(738年)に「伊豫国神野郡在所太平十年納賜」に記載されている。

神野郡(かみのこおり)は平安時代の大同4年(809)4月、第51代天皇・平城天皇が位を皇太弟の神野親王(かみの)に譲り、5月親王が即位し第52代天皇・嵯峨天皇(さが)となつた。当地の郡司(伊曾乃神社宮司)を中心にその年の9月2日に嵯峨天皇の諱(いみな、真名)が、乳母(賀美能宿禰 | かみのすくね)であり女官の出身地である伊豫国神野郡より「賀美能(神野)」と名付けられており、神野郡の名が重複するため神野郡に変わる新しい郡名として新居郡(にいぐん)に変更されたことが文献(藤原道真編纂の類聚国史)に記述されている。

「嵯峨天皇大同四年九月乙巳、改伊予国神野郡為新居郡、以触上諱也」

この地は伊曾乃神社などにより、古くから神が祀られていた為、「神野」(神の地)と呼ばれていた。新居の名を使用したのは、武国凝別命(たけくにこりわけのみこと)の子孫が郡司を世襲し、その一族は当地を中心に東西に栄えていく中、豪族新居氏が誕生。とくに、東部にむけて繁栄していくのであるが、郡名変更の時、最も栄えていた新居地方に住む豪族新居氏の名をとって、新居郡と郡名を改めた。

参考文献:

西條市誌(西条市)、西条市生活文化誌(西条市)、西條誌(西條藩)、注釈西條誌(矢野益治)、西條史談(西條史談会)、





災害ボランティア講座に参加して

会長 伊藤 稔

令和4年9月6日火曜日、例会終了後、速攻で西条市福祉センター3階会議室において、災害ボランティア講座に参加してまいりました。災害というと身近に地震、雨による河川の氾濫による床下浸水を経験したくらいでした。最近の地球環境の変化により、線状降水帯が、真上の雲にかかると大雨洪水警報が発令され、河川の氾濫が当たり前のようになってきました。

身近な課題対策として、まず、自分の身の安全を確認確保したうえで私たちにはできることは、何かを考えて受講してまいりました。講師は、神戸防災士会の会長で、サポートは、西条市社会福祉協議会、西条市ボランティアセンターの正岡様でした。参考になったものは、身近なものの活用でした。

例えば、サランラップは、細長く折っていくとロープになり、黒板に貼るとマジックで用途を記入伝達できます。また、4ℓペットボトルをひもで体に2本絞るとライフジャケットになります。2ℓペットボトルになりますと3本以上になります。以前私は、本気でこのペットボトルを集めて防災用の救助用ボートを作る計画がありました。板の上にペットボトルを敷いて、板をかぶせて船底にする。浮くかどうかはバランスが、とれるかどうかはわかりませんが、年寄りが、自宅に住んでいることや自宅周辺が河川に囲まれていることもあり、そのような発想になったのでしょうか。今思えば、愛犬五郎が、首まで浸かって、家族が2階へ家財道具を運ぶ準備をしているときでした。その当時、河川からの道路への水の勢いと流れに足がとられ恐怖体験をしました。このように災害は、いつ起こるかかわからないことで身の回りの品は、必ずリュックなりひとまとめにして日頃から避難準備をしておく必要性を感じました。

最後に災害ボランティアネットワークの構築についての趣意書を参考に渡されました。県内のネットワーク会議事務局は、愛媛県社会福祉協議会 愛媛県ボランティア・市民活動センター内に置きます。

〒790-8553 松山市持田町三丁目8番15号
TEL089-921-8912 FAX089-921-5289

今後の活動の相談などは、この方々を通してでもできるようにしてきました。一番は、災害がおこらないことですが、起きてもすぐ対応できる体制づくりが必要不可欠と思いました。

「真夏の夜の夢」

花山志郎

今日は秋晴れの良い日…長かった！長かった！長かった！「コロナ」もやっと終息、いよいよ待ちに待った「西条ライオンズクラブ感謝祭」開催の日が来ました。

会場は、事務局のある商工会議所、正面入り口を利用して素晴らしいステージも出来上がっている。お客様の駐車場には近隣の事業所や施設にご協力を得ている。開催日が日曜なので有難い、ステージから見渡すと星の里の子どもたちが手作りのクッキーを販売し、そして西条ライオンズクラブ特製の「ライオンズカレー」も賑わっている。今回はおまけに「ゆでたまご」付きだ！隣のブースでは「子ども食堂」の開催、やっぱり子どもたちのにこにこした笑顔を見るとこちらも幸せな気持ちになる。左手の方を見ると久々の「西条ライオンズクラブ十八番、“バザールでござ～る”」が。商品も山積みだ。昔うっかりと口の開いたウイスキーを出品してお客様にお詫びに行った事もあったなあ～。

西条国際交流メンバーも参加し、少し早めの「サンタDEウォーク」も出発してみたいだ。
“ 実にワイルドだぜ～ ”

ステージ前ではちよっぴり早い「餅つき大会」が始まり、子どもたちの楽しげな顔、軽快なつき手の歌声が美味しいお餅を楽しみにしている人達をやさしい笑顔にしてくれる。

そろそろメインステージの催しが始まったな…。

全日本合唱コンクール愛媛大会金賞・Nコン銀賞の西条小学校コーラス部がトッパッターで参加、続いて西条北中コーラス部、吹奏楽部、葵コーラスの皆さんにも参加いただき、どんどん盛り上がってきましたよ～。マスクを外した生の歌声がやっぱりいいね！最後にアップルカルテットの演奏をバックに「上を向いて歩こう♪」を全員ステージで歌っているとなんと西条出身の秋川さんも飛び入り参加して大盛り上がり！！

……で、目が覚めた！

夢だったのか…。

おしまい



MC・広報委員会発 企画シリーズ
なんでもアンケート

No. 4 武智正人

- Q)健康維持の為に実践していることはなんですか
A)朝、コップ1杯の水を飲むこと
ストレッチ(腕立て伏せ)をすること
休肝日は週一日作るように努めること
- Q)趣味は何ですか
A)魚釣り・ネットオークション
- Q)旅行の目的は
A)日常と違う、ひと時を求めて
- Q)これから行ってみたい場所は(国内外を問わず)
A)台湾など親日国
- Q)おこづかいの使い道は
A)好きな食材を買って料理・ネットオークション
- Q)好きな作家は
A)司馬遼太郎
- Q)座右の銘は
A)『 神道は日用の間(ま)にあり 』

No. 5 村瀬文隆

- Q)健康維持の為に実践していることはなんですか
A)ウォーキング
- Q)趣味は何ですか
A)ゴルフ
- Q)旅行の目的は
A)美味しい物
- Q)これから行ってみたい場所は(国内外を問わず)
A)イタリア・スペイン
- Q)最近買ったものは
A)電気自動車
- Q)あなたにとって車とは
A)男のロマンです
- Q)好きな作家は?
A)池井戸 潤
- Q)座右の銘は
A)『 不楽是如何 』

編集後記



2019年12月に新型コロナウイルス感染症は全世界に広がった。今年7月から始まったオミクロン株 BA.5 による第7波は、予想を大きく上回り愛媛県では過去最高の感染者数を記録した。9月に入り、やや減少傾向となりようやくピークアウトしつつあるが感染が無くなった訳ではない。

当クラブの事業も、今期 7・8・9 月と中止に追い込まれたが、10月11日にフジグラン西条駐車場で献血車2台で献血奉仕が開催される。

3年振りに通常開催となる伊曾乃神社例大祭後は、やはり心配される。今年の15・16日は、週末の土日なので市外からの帰省も多いと予想される。「伊曾乃神社例大祭新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」は、市外からの参加者は抗原検査による事前チェックが必要となる。

今年の祭りはガイドラインを遵守し、感染拡大のない楽しい西条祭りで無事終わることを期待する。

MC・広報委員 盛實正人

発行者 会長 伊藤 稔
幹事 高橋 学
[MC・地区誌編集委員会]
委員長/副委員長 小野雅志/盛實正人
編集委員 越智英明・村上公明・寺川治美
明比紳一郎・清水泰雅
例会日 毎月 第1・第3火曜日(12:30~13:30)
例会場 西条商工会館
発行 西条ライオンズクラブ事務局
印刷 プリントワールド ONO

西条ライオンズクラブ

〒793-0027 愛媛県西条市朔日市779-8
西条商工会館1F
TEL(0897)56-3980
FAX(0897)56-9251
E-mail saijo-ic@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ http://saijo-lions.jp
facebook http://facebook.com/saijo.lions/